

東高

国際だより

平成29年 7月20日
京都府立東舞鶴高等学校
国際教育部発行

2017 号外

夏休みを利用して Challenge しよう!

心の叫びを発信してみませんか?

☆JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト

○募集テーマ 「世界の人々と共に生きるために ～私たちの考えること、出来ること～」

私たちの身の回りは、実は、世界、あるいは発展途上国とのつながりにあふれています。あなたと世界にはどのようなつながりがありますか? 様々な出会いや体験、学校の授業、それにテレビなどを通じて学んだことや感じたことなど自由な題材で、あなたの言葉で想いを伝えてください。

- 形式 400字詰め原稿用紙4枚(1600字)以内に、**日本語で**
- 応募締切 9月11日(月)
- 特典 入賞者には副賞として**約1週間の海外研修等**、また**参加者全員に参加賞あり**

☆京都府立高等学校英語スピーチコンテスト

毎年、東高生も北部予選を突破、本選へ進んでいる大会です。詳細は2学期にお知らせします! 夏休みの間に、話せそうな題材を探しておいてくださいね。

- 予選 11月上旬 本選 11月中旬
 - 演題 自由
 - 制限時間 5分
- 毎年本校から2名参加しています。一昨年度は3年3組徳留早唯里さん(海外出身)が東高代表に選ばれ、北部予選を通過して、本選に出場しました!

☆神戸女学院大学 絵本翻訳コンクール

- 応募締切 9月6日(水)
ただし、**参加申し込みは8月3日(木)まで**
- 形式 1人でも、同じ高校に在籍する3人以内のグループでも応募可能
- 課題図書 参加申し込み後、課題絵本が学校宛てに送付される
- 特典 入賞者には副賞として図書カード



一昨年度2名の東高生が応募しました!
素敵な絵本の翻訳が体験できますよ。

2年国際文化コースは、9/30に1日校外研修としてJICA関西を訪問します。事前学習を兼ねて、応募してみよう。

Namaste ~ネパールからの手紙~

昨年度から、青年海外協力隊員としてネパールでボランティア活動をしている英語科吉積勇人先生からのメッセージをお届けします。

ナマステ ナマステ!

ネパールは遂に雨季に突入し、毎日たらいをひっくり返したような雨が降り続ける毎日です。

日本も梅雨入りし、いよいよ一学期も終盤戦ですね。

国際講演会では、JICA関係者が来校したと小耳にはさんでおりますが、いかがだったでしょうか?

さて、今回はネパールの情操教育事情についてご紹介します。きっと生徒の皆さんは情操教育といってもピンとこないですよね? 情操教育とは、体育や音楽、美術を代表とする、感受性や創造性を育てる教育のことです。ネパールの学校にはこの情操教育が全くありません。やはり、「所詮遊びでしょ?」という意識が根強くあるため、設定されていません。以前東舞鶴高校から頂いた寄付を用いて美術の授業(塗り絵)を行ったところ、色鉛筆を取り合いになるほどの結果となりました。興味深いのは、先生(私ですが)に執拗なほど評価を求めてくることです。何故だと思いませんか?



私なりに考えてみた理由は.....

- ① 色鉛筆などの美術用具は手に入らず、機会に恵まれないため
(日本なら生徒一人に対して1セット色鉛筆やクレヨンがあって当たり前ですよね?)
- ② 普段の授業スタイルから、書いたものは先生に〇印を貰ってあたりまえだと思っている
(日本では、皆さんが描いた作品に✓マークなんかつけませんよね?)
- ③ タマン族の家は、ほぼ全員農業に従事しているので、家で子供の話をゆっくり聞いたり、学校の作品や宿題について「かまって」くれる人がいない
(もしかしたら家に持って帰って親に見せると、ちゃんと勉強しなさい!と怒られるのかもしれませんが。)

このように、ネパールの中でもタマン族という山岳民族のコミュニティに生きる子供たちの生活と学校という制度との間に不一致が見られるのがネパールです。私もネパールに来てから約1年が経ちますが、このギャップや考えの優先度などに悩む毎日です。JICA事業に関わらず、海外で働くということは、`日本のあたりまえ`と`現地のあたりまえ`のぶつかり合いだと思います。特に途上国支援はできる限り`上から目線`にならないようにしていても嫉妬をかけてしまうという難しさもあります。しかし、我々日本人が転がっていても気にも留めない色鉛筆一本でもネパールの子供たちにとっては一生の思い出になりえる授業が提供できると思うと、「明日も頑張らない」と思う毎日です。東舞鶴高校から頂いた寄付を今後も大事に使わせてもらいます。



☆AET オリジナル・リスニング教材

京都府のAETの先生たちによるリスニング教材で、英語の聞き取り能力をアップさせよう! 教材は、以下のURLまたはQRコードからアクセスでき、自分のレベルに合った問題を選ぶことができます。ぜひ取り組んでみてくださいね!

http://www.kyoto-be.ne.jp/koukyou/cms/?page_id=423



質問・申し込みは、**7月中に、国際教育部(野田)まで!**

どうしようかなと迷っている場合も、とりあえず声をかけてくださいね。

「国際だより」は下のQRコードからもアクセスできます。

